

「平成15年事務機械需要予測」の発表

社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(会長：樫尾 幸雄 / カシオ計算機株式会社 代表取締役副社長)では、調査統計委員会(委員長：石川 茂樹 / ブラザー工業株式会社 取締役常務)を設置して、事務機械の各種統計調査事業を行なっていますが、このたび平成15年の事務機械の需要予測がまとまりましたので発表致します。

なお、この予測は、当協会の自主統計および経済産業省機械統計月報・財務省貿易月表をベースに予測致しました。

平成 14 年実績見込	1兆4,414億円(前年比 94.8%)
平成 15 年需要予測	1兆4,300億円(前年比 99.2%)

(概 要)

1. 平成 14 年の見込み

平成 14 年の事務機械の総出荷金額は、1 兆 4,414 億円と平成 11 年をピークに3年連続のマイナスとなる見込みである。国内・輸出別で見ると、国内が 6,176 億円(前年比 97.7%)と平成 11 年以来3年連続のマイナス、輸出については 8,239 億円と2年連続のマイナスとなり、国内・輸出ともにマイナスとなる見込みである。

平成 14 年の国内経済は、前年のITバブルの崩壊や同時多発テロの影響等による景気減速から回復しつつある米国向け輸出の増加により、前半は比較的堅調な回復軌道を辿ってきたが、他方、金融機関による不良債権処理の遅れや雇用・所得環境の悪化もあり、非常に厳しい状況となっている。またデフレ傾向の継続は企業収益を圧迫し、個人消費や設備投資を刺激する内需の本格的回復に至るにはなっていない。

グローバル経済に視点を移すと、米国については、金融・財政両面からの景気刺激策により景気減速の局面からは脱出したものの、株価下落等による資産デフレの影響等が顕著化し、世界経済を牽引するだけの力強さは見受けられない。欧州経済については、特にドイツ経済が引き続き不安定な景気情勢にあり、またフランスやイギリス等大国の景気回復の遅れ等により経済成長率はほぼ横ばいで推移するものと見られる。アジアについては、米国経済の回復に伴ない全体的には回復傾向にある。特に世界の工場としての地位を固めつつある中国、経済の構造改革をほぼ終了した韓国については高い成長を遂げる見通しである。

当産業協会の予測対象品目における平成 14 年の見込みは、複写機／複合機についてはフルカラー機が国内では非常に好調であったため国内出荷高は前年を上回るが、生産拠点の海外へのシフトの影響等により、国内・輸出合計は前年を下回る見込みである。その他の品目については、ページプリンタ、電

卓 & パーソナル情報機器等のような前年を下回る品目もある一方、データプロジェクタ、ECR／POS等のような前年を上回る品目もあり、全体としては多少のばらつきはあるものの底を打った感がある。

2. 平成 15 年の予測

1) 概況

国内経済においては、税収が伸び悩む中で大規模な財政出動や減税等による景気回復策の実施は困難であり、また金融機関の不良債権や巨額の財政赤字等に代表される構造的問題の解決については時間を要するため、平成 15 年での内需主導型の持続的経済回復は難しいと推測される。このような経済環境の中で、事務機械においてはデジタル化、ネットワーク化及びモバイル化の流れは継続するため、国内出荷金額については4年ぶりに対前年を上回る 6,252 億円(前年比 101.2%)になるものと予測した。

海外の経済環境においては、米国は比較的緩やかな成長が継続し、欧州経済も主要国の経済成長率が改善するものと期待されており、グローバルには回復傾向にあるものと予測される。このような海外の経済環境の中で、事務機械の輸出金額については生産拠点の海外へのシフトが影響し、8,048 億円(対前年比 97.7%)になるものと予測した。

この結果、総出荷額は 1 兆 4,300 億円(前年比 99.2%)とほぼ前年並になるものと予測した。

2) 品目別予測

① 複写機／複合機

国内は、オフィス環境の堅調なデジタル化、ネットワーク化の進展により、複写機／複合機全体のデジタル化率は、フルカラー機を含め、90%に近づくものと予測される。特に、フルカラー機は、オフィス環境のカラー化の浸透により、台数ベースでは 25%強、金額ベースでも 14%の大幅な伸びが予測される。

輸出については、各メーカーとも厳しい販売戦略に対応するため海外生産のシフトがさらに進み、そのため統計上は大幅なダウンが予想される。一方、オフィスでのカラーニーズの高まりにより、フルカラー機は台数ベースで 20%、金額ベースでも 10%強の伸びが予測される。

この結果、総出荷(ジアゾを除く)は台数で 1,032 千台(前年比 93.6%)、金額で 5,048 億円(同 95.8%)と予測した。

② ページプリンタ

国内は、製品のスピードアップと低価格化がさらに進み、低速機(10 PPM 以下)が中速機(11－20 PPM)に移行し、中速機がエントリーモデルとしての性格を持つようになる。カラー機については、高速タンデム方式と安価な4サイクル方式の品揃えが整い、ユーザーのカラー機導入意向も高く、継続的成長が予測される。

輸出については、国内同様に低速機が中速機に移行する。台数ベースでは特にモノクロ機は低速機需要の大半が中速機に移行し、10 PPM 以下の需要減を上位モデルが概ねカバーするが微減、金額ベースでも単価下落により微減が予測される。

この結果、総出荷は台数で 10,859 千台(前年比 100.0%)、金額で 3,841 億円(同 98.4%)と予測した。

③ データプロジェクタ

国内は、一般企業の需要では厳しい市場環境が続くものと予想されるが、文教市場ではミレニアムプロジェクトによる導入の拡大が予測されるため、台数ベースで 23%、金額ベースでは低価格化の影響もあり 7%の伸びが予測される。

輸出については、米国はほぼ横ばいと予測されるが、欧州はSOHO市場を中心に堅調な需要が予想され、XGA機の低価格化により需要の拡大が期待される。また中国での伸長、他のアジア地域での大口案件等についても期待される。

その結果、総出荷は台数で 1,560 千台(前年比 120.6%)、金額で 3,011 億円(同 106.5%)と予測した。

④電卓 & パーソナル情報機器

● 電卓／電子辞書

国内は、一般的な四則演算型電卓は成熟商品であるため堅調な需要はあるが、伸長は期待できない。電子辞書は、高齢化社会の到来と生活に便利なツールであるとの認知に支えられ、需要は拡大するものと予測される。

輸出については、一般的な四則演算型電卓の安定需要が続くものと予測される。

その結果、総出荷は台数で 72,790 千台(前年比 97.6%)、金額で 641 億円(同 95.7%)と微減が予測される。

● 電子手帳

国内は、携帯情報機器と競合するため、市場は限定的なものになると予測される。輸出についても、個人情報管理に限定された低価格品及び携帯情報端末が普及していない地域での需要に対して期待される。

その結果、総出荷は台数で 1,316 千台(前年比 90.3%)、金額で 30 億円(同 87.0%)と予測した。

● 携帯情報機器

国内は、法人需要に対する躍進が期待される。またコンシューマ市場においても無線 LAN や Bluetooth 等が誘引材料となり、踊り場の現状からの脱却が期待される。

輸出については、モバイルワーカーの増加、コミュニケーションの増加及び無線 LAN 活用の環境整備が相俟って、着実に需要が拡大していくものと予測される。

その結果、総出荷は、台数で 1,660 千台(前年比 105.4%)、金額で 497 億円(同 105.8%)と予測した。

⑤ ECR／POS(金銭登録機)

国内は、流通業界の生き残りをかけた新規出店、店舗改装等による ECR／POS のリプレイス需要が引き続き堅調に推移し、既存業種の変化に合わせた新たな店舗形態による新規需要が期待される。

輸出については、世界的なデフレ傾向の影響により ECR／POS の海外生産移転が一層進み、輸出は減少するものと予測される。

その結果、総出荷は、台数で 424 千台(前年比 98.4%)、金額で 716 億円(同 101.6%)と予測した。

⑥ デジタル印刷機

パソコンの出力機としての用途が増加する。また民間市場、文教市場ともに A3 機の需要は引き続き拡大するものと予測される。

その結果、総出荷は、台数で 41 千台(前年比 100.5%)、金額で 157 億円(同 98.5%)と予測した。

⑦その他の品目

上記以外の品目別出荷金額は、マイクロフィルムシステムで 52 億円(前年比 101.4%)、電子黒板で 45 億円(同 104.7%)、タイムレコーダで 42 億円(同 96.3%)シュレツダで 62 億円(同 105.1%)、その他の事務機械(オフセット印刷機、タイプライタ等)で 154 億円(同 90.6%)と予測した

(注) “デジタルイメージングシステム”については、「平成15年の需要予測」からソフトウェアを含む統合ドキュメント管理システムの関連市場も包含した国内市場全体の需要予測に切り替えたため、事務機械全体の需要予測からは除外したが、品目別の需要予測では掲載している。

事務機械の国内・輸出実績及び予測

単位(金額:百万円、前年比:%)

品 目			平成13 年	前年比	平成14年見込	前年比	平成15年予測	前年比
複写機/複合機、シアゾ	複写機／複合機	国内	289,292	94.0	299,100	103.4	305,500	102.1
		輸出	275,334	76.7	228,000	82.8	199,300	87.4
		合計	564,626	84.7	527,100	93.4	504,800	95.8
	シアゾ	国内	1,057	65.5	700	66.2	500	71.4
		輸出	290,349	93.8	299,800	103.3	306,000	102.1
		合計	275,334	76.7	228,000	82.8	199,300	87.4
複写機/複合機、シアゾ合計	合計	565,683	84.6	527,800	93.3	505,300	95.7	
ページプリンタ	国内	120,908	95.2	103,787	85.8	101,142	97.5	
	輸出	304,412	97.7	286,631	94.2	282,952	98.7	
	合計	425,320	96.9	390,418	91.8	384,094	98.4	
データプロジェクタ	国内	38,815	126.3	36,973	95.3	39,648	107.2	
	輸出	235,156	107.2	245,820	104.5	261,467	106.4	
	合計	273,971	109.5	282,793	103.2	301,115	106.5	
電卓 & パーソナル情報機器	国内	72,490	86.8	66,226	91.4	66,987	101.1	
	輸出	54,537	96.5	51,184	93.9	49,820	97.3	
	合計	127,027	90.7	117,410	92.4	116,807	99.5	
ECR／POS (金銭登録機)	国内	54,754	98.5	61,800	112.9	63,900	103.4	
	輸出	13,456	107.7	8,700	64.7	7,700	88.5	
	合計	68,210	100.2	70,500	103.4	71,600	101.6	
デジタル印刷機	国内	16,835	93.8	15,898	94.4	15,662	98.5	
マイクロフィルムシステム	国内	4,704	90.7	5,128	109.0	5,200	101.4	
電子黒板	国内	3,291	88.5	2,760	83.9	2,800	101.4	
	輸出	1,890	79.2	1,490	78.8	1,650	110.7	
	合計	5,181	84.9	4,250	82.0	4,450	104.7	
タイムレコーダ	国内	3,896	83.9	3,300	84.7	3,168	96.0	
	輸出	1,188	80.0	1,030	86.7	1,000	97.1	
	合計	5,084	83.0	4,330	85.2	4,168	96.3	
シュレツダ	国内	6,445	85.7	5,900	87.1	6,200	105.1	
その他事務機械 (オフセット印刷機、タイプライタ等)	国内	19,879	34.1	16,000	80.5	14,500	90.6	
	輸出	1,680	91.2	1,000	59.5	900	90.0	
	合計	21,559	35.9	17,000	78.9	15,400	90.6	
総 合 計	国内	632,366	89.9	617,572	97.7	625,207	101.2	
	輸出	887,653	92.0	823,855	92.8	804,789	97.7	
	合計	1,520,019	91.1	1,441,427	94.8	1,429,996	99.2	

この統計数値は、単位以下四捨五入を行っているので、合計と一致しない場合があります。